

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年5月18日(土) 13時～15時半 定員15～20名  
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 交流会（近況報告）

3. 参加者数 9人（内訳：当事者1名、家族5名、専門職3名）

4. 当日の様子

前回のカフェ開催日が、浦添市で開催された丹野智文さんの「オレンジ・ランプ」上映会の日と重なっていた為、カフェの仲間では上映会と丹野さんとの交流会を開催し、20人前後の参加者がありました（那覇市からも当事者と地域包括支援センター職員複数名参加あり）。今月は映画の感想や意見交換会を行う事と、先月地震による避難勧告があった事もあり、自然災害時の避難について考える会と題して開催致しました。映画についての話し合いが時間を要してしまい、自然災害について話し合う時間が取れませんでした。この議題については又、今後のカフェで時間を作成したいと思います。

5. 所感

当事者が一人参加していて、映画の感想も述べましたが、自分の病気についてや生活の困りごと等を参加者に伝えていました。家族としても、当事者の意見を直接聞く機会は稀なので、本人の世界感を学ぶ機会になりました。専門職からは支援として関わっている人は、本人が意思表示できない状況についてもきちんと理解しようとする努力が必要だと感じた等、気づきの視点がたくさん映画から学んだとの意見が出ていました。スイーツはバイクドチーズケーキをセレクトしました。



★次回予定：2024年6月15日（土）

以上